

第4章 支援者とNPO法人の相互理解に向けたNPO評価

一般市民や企業の間で、非営利活動に対する関心や期待感が高まりつつあり、NPO法人等に対する支援の希望が増えている。

しかしながら、このような社会的な意識の高まりが、NPO法人個々に対する支援や参加などに結びついているとは言いがたい面が窺われる。

NPO法人に対する支援の形としては、以下のように、大きく「資金」、「物品等」、「役務」の3つに分類できるが、今後は一般市民等の“共感”や“志”と、支援を求めるNPO法人とのマッチングが重要な課題と指摘されており、多くのNPO法人が良き理解者を得るために、様々な形のマッチングシステムが必要であると考えられる。

ここでは、NPO法人と支援者のマッチングを促す一つの方法として「NPO評価」の活用を考え、その可能性やあり方について検討を行った。

図表4-1 NPO法人を取り巻く支援等の形

分類	性格	性格
資金	会費	NPO法人の活動理念等に賛同する個人、団体が、そのNPO法人に会員として入会し提供する資金で、返済義務がないもの 会員が期待する活動意義、活動成果が実現できなかった場合、継続的に確保することはできない
	寄付	NPO法人の活動理念等に賛同する個人、団体が提供する資金で、返済義務はないもの寄付にはNPO法人の一般的な活動に対して行われるものと、特定のプログラムに対して寄付されるものがある但し、原則、不定期性が高い 寄付行為指向型の場合、一般的な知名度等が大きく影響する目的指向型の寄付の場合、寄付者が期待する活動成果が実現できなかった場合、継続的に確保することはできない
	助成	企業、財団等からある目的をもって提供される資金で、返済義務はないもの一般的にその資金の用途などが特定されている 助成者が期待する活動以外のものや、その成果が実現できなかった場合、継続的に確保することはできない
	融資	金融機関等から調達する資金で、返済義務があるもの NPOといえども、融資に際し、返済能力、経営能力等が厳しく問われる。
物品等	NPO法人そのもの、もしくはNPO法人の実施する事業に対して、資金以外で提供されるもの 提供者が期待する活動意義、活動成果が実現できなかった場合、継続的に確保することはできない	
役務	NPO法人の活動にボランティアで提供される労力 提供者の満足度や会員が期待する活動意義、活動成果が実現できなかった場合、継続的に確保することはできない	

資料：各種資料より作成